



和歌山県版

No.389

2024.1.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
和歌山県本部

☎ 640-8343

和歌山市吉田 102

国会会館 2階

FAX : 073 (422) 7076

<https://wakayama.exblog.jp>

email:chian_gisei
sya@yahoo.co.jp



私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。

正月はなぜめでたのか

県本部会長

鶴田 至弘

自民党のキャッシュバック問題で年が暮れやれやれと思ったら、新年に能登半島に大地震が起こった。二百数十名（関連死の疑を含む）が命を奪われ、被害の全容はまだ明らかでない。歴史的な惨事である。翌2日、日航機が海保の飛行機と衝突した。火だるまになって滑走する機と乗客乗員の想像を絶する悲劇を予想して息が止まる思いをした。幸いなことに奇跡的乗員の無事が報じられたが海保機からは5名の犠牲者が出た。航空機史上の大惨事であった。

正月は少しもめでたくはなかった。能登と日航機の惨事が継続して報道されるニュースの中で、二階氏と世耕氏に検察の手が入ったことが報じられた。二階氏は塀際の達人、世耕氏は安倍の腰巾着。和歌山県の恥すべき著名人である。検察の奮闘如何ではこの件は目出度いことになる。

岸田が自分の任期中に改憲すると大口をたたいている。大軍拡を進めるとホザイテいる。自衛隊の一部集団が靖国参拝、物騒な動き。奴らが跳梁している限り、私たちのたたかいはやまない。さらにさらにたたかわなくてはならない。

新しい手帳はまだ空白が多い。そこにたたかいたの指針を刻む。平和と人権のめだたさに向かってぎつしりと刻む。

そんな年にしたい。



絵手紙 和歌山西支部 大平喜代

新春に一言、今年こそは（順不同）

西牟婁支部

真砂 宏一

子や孫に平和な未来を

昨年を振り返って見れば、新しい戦前が始まった一年のようだった。特に安保三文書に基づき、敵基地攻撃の能力を持つという平和憲法を無視した方向に突き進んできた。さらに、2024年度予算案で防衛予算として7、9兆円の大軍拡予算案を発表した。

物価高に苦しむ国民生活を尻目に、アメリカや兵器産業を喜ばす予算だ。そして、今年の秋には、平和憲法を変えると既に宣言しており戦争への準備を着々としている。

我々同盟として、治安維持法犠牲者の名誉回復や謝罪を求め署名活動等をしてきたが、合わせてなによりも、再び戦争をしない、させないを合言葉に日夜奮闘しよう!!

今年も国賠同盟の出番として、子や孫に平和な未来を残し、安心して暮らせる世の中にしてやりたいと思う。

（支部事務局長）

和歌山北支部

矢田 一也

今年こそチャンスの年に

あけましておめでとうございます。今年こそは国賠同盟の国会請願の紹介議員を大きく増やすチャンスOfYearです。自民党の不正蓄財疑獄事件は列島騒然、国民の大きな怒りを呼んでいます。

国賠同盟は今年5月、51回目の国会請願行動ですが、これまでは一度たりとも審議さえされず、審議未了廃案とされてきました。しかし、今年は長いトンネルの向こうに小さいがはっきりとした明かりが見えます。

ただ、同盟の請願要求が審議され採択されるまでには幾つもの山を越えねばならないでしょう。政権政党が小さくなっても、それを支える野党ではあっても、革新政党ではない党が存在する限り、同盟の要求実現はイバラの道だと思えます。しかし、国賠同盟は粘り強く、不屈に戦う組織です。

今年こそは要求実現の道筋（羅針盤）を記す一年にしたいものです。

（支部事務局長）

こだま

新年号だから何か楽しい明るい話題をと思う◆昨年の春、野球チーム「侍ジャパン」が、WBCで世界一に。そこから、投打二刀流で大谷翔平選手の話が一年を通じて注目され続けた。◆将棋界では若い藤井聡太八段の八大タイトル制覇、八冠に輝いて話題になった◆政治の世界ではどうか。日本は連続して「化石賞」を受賞したという。??。

これは恥かしい方の賞だ。地球沸騰化の時代と言われる中で、化石燃料や原発に固執する岸田文雄政権の日本に、世界が下した評価である◆その岸田政権の与党自民党は、派閥の裏金問題・政治資金規正法違反の疑いで、東京地検特捜部が強制捜査に入っている。強制捜査に入ったのは安倍派と二階派の関係先。さらに、東京都江東区長選挙での買収容疑で、柿沢未途・前法務副大臣が逮捕された。岸田政権は完全に破綻している◆自民党の裏金問題は、『しんぶん赤旗日曜版』がスクープと、12月30日のMBSテレビ「報道の日2023」でも報じた。ことしは派閥と金権の自民党政治を終わらせ、政治の世界でも明るい話題のある日本にしたいものだ。

海南・海草支部

田村 俊平

過去から学び歴史の直視を

2023年9月1日は、関東大震災（1923年9月1日）から100年目の節目の年であった。

この混乱のどさくさに紛れ、軍・警察・民間人（自警団）の手により「朝鮮人が暴動を起こした、放火した」等の流言飛語（デマ）が流され、朝鮮半島出身者の多くが虐殺された。同時に朝鮮人に間違えられた日本人もまた犠牲となった。

当時社会・労働運動高揚期の中で軍・警察により甘粕事件や亀戸事件により、自由・平等な民主主義社会実現を目指す多くの目覚めた人たちに権力による弾圧が相次いだ。いま、これらの歴史的事実について政府は「調査した限り事実関係を把握できる記録が見当たらない」と言い続け、真正面から向き合うことなく事実の解明のための再調査への姿勢もない。このことは、政府による史実抹消であり、この真相究明をすることにより、差別や偏見に基づく人権侵害が

新春に一言、今年こそは

再び繰り返さないようにするためである。同じ敗戦国であるドイツは過去の清算を早々に行い周辺国の信頼を得てきた。一方、日本は戦争責任や戦後補償もあいまいのまま、同じく治安維持法犠牲者に対しても何ら前向きな姿勢は皆無である。

改めて過去から学び、歴史を直視し過去の清算をすることの重要性が、今こそ問われている。（支部役員）

那賀支部

松尾 美男

新春を想うつて無理や!!

やっと通信教育のレポートを仕上げたと思ったら「不屈に新年の一言書いて」って無理や。

六十年近く「平和憲法守れ」「沖縄を返せ」「アメリカいいなり、財界いいなり」もう許せん!! ズーっとキバって来た。やのに、そやのに今は「どん底」。もうこれ以上底はないわ。

これからは上昇の一途。辰年や。新しい年からまたがんばろう。と決意しているところです。

（支部役員）

和歌山東支部

坂口 美香

全会員参加で成果を!

新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、能登半島地震で亡くなられた方々に対しお悔やみ申し上げますとともに被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

和歌山東支部の今年の抱負とお願いを挙げ、新年のご挨拶とします。

私たちの支部では「全会員参加の署名活動」を合言葉に活動しています。が、ここ数年は訪問活動が弱まり、思うような成果が出ていませんが、新しい年迎え心機一転、署名の中身を伝え運動に取り組みたいと思います。

また、和歌山市内3支部で合同支部ニュースを、隔月でゆるく作って、今月号で8号目の発行です。今後とも継続しますので皆さんの記事や写真をお待ちしています。

国賠同盟の会員増やしも、役員を先頭に奮闘しますので、ご友人の紹介などご協力をお願いします。

今年もどうぞよろしくお願いします。

（支部事務局長）



頌春



どないしようと思ったら

ナカキタ企画 中北幸次

〒640-8024 和歌山市元寺町3丁目27
TEL090-8826-5664:FAX:073-422-5919
Mail spgcn608@yahoo.co.jp

和歌山県社会保険労務士会 会員

社会保険労務士 **吉田 勇**

有限会社 吉田綜合保険事務所
〒646-0047 田辺市紺屋町 58-5
電話(0739)22-5538 FAX 専用(0739)24-3944

珈琲焙煎&カフェ **Green Beans**

松ヶ丘店

〒641-0033 和歌山市松ヶ丘 1-1-35

☎ 073-488-3884

<http://greenbeans.jp>

オルファ株式会社

和歌山市吹屋町3丁目11番地

Tel 073-432-0257

Fax 073-432-0259

梅・みかん・葉つきポンカンの御用命は

射場農園

西牟婁郡上富田町岡

Tel 0739-47-1303

Fax 0739-47-1303

どうぞ
贈答にも
どうぞ！

**治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟**

橋本・伊都支部

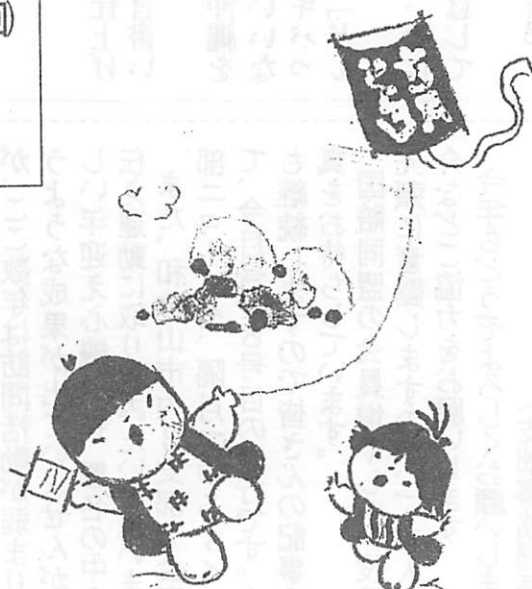
支部長 細川 豊三郎

琴・三味線ひいてみませんか(月3回)

箏・三絃教室

松 阪 良 子

和歌山市岩橋 1149 電話 073-475-0818



(順不同) 金



恭賀新春



平和を守り、市民本位の市政へ

日本共産党紀の川市議員団

「戦争する国づくり」ノー

日本共産党橋本市議員団



COFFEE & PUB

西牟婁郡上富田町
生馬(生馬パイパス)
TEL0739-47-3435

日本国民救援会和歌山県本部

会長 小崎 一教

和歌山市吉田一〇二国労会館内

☎〇七三―四二五―九四二一

軍拡反対

いのちと暮らしを守る市政に

日本共産党岩出市議員団

住民が主人公の市政をめざして

日本共産党和歌山市議員団

和歌山市七番丁二二三

和歌山市役所内

☎〇七三―四三五―一一一三

くらしのなんでも相談は

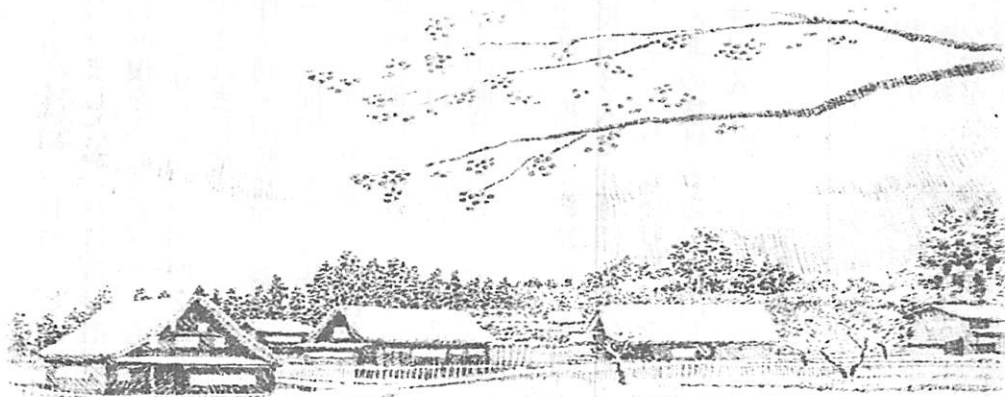
橋本市生活と健康を守る会

☎〇七三六―二六―七六三四

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

和歌山市3支部協議会

西支部・東支部・北支部



(川順不同)

《学習の頁》

日置川「原発」のころ

(連載 7)

祥賀谷 悠

日置の町に置かれた関電「立地部」について書いておきます。広報活動が主な業務とされていましたが、実際に最も力を入れたのが原発先進地「視察」でした。福井県への一泊二日のツアーを組み、現地で原発を見て、原発賛成の世論を広げるが狙いでした。

当時、紀南からの琵琶湖方面への一泊旅行は約3万円余でしたが、この原発視察は一人3千円ばかり。酒は飲み放題、料理は食べ放題、夜のスナック代も関電持ちというもの。また、町独自でも視察を実施し、合わせて1500人(町人口は4千人余)もの住民が参加しました。関電は莫大な資金力をバックに、飲ませ食わせて住民を買収、懐柔、関電の「立地部」とはこうした住民への工作機関でした。そして、これはいまも日置の町の国道沿いに置かれてい

ます。

さて、新しい宮本町長は町の長期基本構想で原発建設を基本にすえ、町議会も共産党以外の賛成でこれを可決します。

これに待ったをかけたのがチエルノービル(ウクライナ語読み)原発の事故でした。

86年4月26日の早朝、スエーデンのフォルスマルク原発であり得ない高濃度の放射能を検知し、安全装置が働き原発が停止しました。直ちに細部までの検査をしますが異常がありません。

「おかしいぞ、風向きを調べろ」「風は南からだ」「南ならソ連のチェルノービルしかないぞ」。

しかし、ソ連のゴルバチョフ書記長がこの大事故を明らかにしたのは3日も経ってからでした。

「青白い光だ、美しいなあ」。地元の人々は最初、原発からでる光を見てそう言いました。そして、雪のように舞い落ちる「死の灰」のなかで子どもたちは無邪気にはしゃいでいました。世界中

が震撼する幕開けでした。

この大事故を境に原発反対の運動は一気に高まり、11月には、「日置川原発反対30キロ圏内共闘会議」が労働組合や民主団体などで結成されます。また原水禁国民会議などが500人で「紀伊半島に原発はいらない関西集会」を行い、さらに、「ふるさとを守る女の会」が結成され300人集会を成功させます。

(次号へ)

学習会

同盟国
県本部主催

「歴史に学び、戦前の歴史的
総括を一『日本のアジア侵略と
治安維持法』」

講師：飯田光徳氏

日時：3月16日(土)

午後1時30分より

場所：プラザホープ

(和歌山市北出島1丁目)

多数のご参加を!

『犠牲者名
簿』(第2版)か
ら (53)

橋本 清次 (はしもとせいじ)

本籍 和歌山県

1933年4月10日の大弾
圧で、和歌山県西牟婁郡田辺町
で、濱田幸一郎、糸川壽一らと

ともに検挙される。

廣里直太朗（ひろさと なおた）

本籍 和歌山県

1933年4月10日の大弾圧

で、和歌山県東牟婁郡で検挙される。違反容疑は日本共産党の目的遂行罪で、同年9月起訴猶予処分となる(35歳)。



紀のくに歳時記散歩
11

紀のくに和歌山の歴史ある名所・仏閣・碑などを気軽に散策します。

高野山
(2)

炉を炊けば先師歸りて来るこゝち

森
白象

高野山に三回来た松尾芭蕉

前号で次回とした、普賢院と芭蕉の所縁(ゆかり)と、芭蕉が3回高野山に登ったことについて。

森白象氏は、「芭蕉と高野山」の冊子で芭蕉は、伊賀上野の侍大将、藤堂家の小姓だったこと。その藤堂家の菩提寺が後に普賢院と合併する中島坊という寺院だったことを紹介しています。

そして、芭蕉が小姓として仕えた良

忠が若くして亡くなり、その弔いのために高野山の菩提寺に來た時が一度目。二度目は、主君を亡くした芭蕉が生き方を悩み出奔、高野山の中島坊の僧を訪ねた時、三度目は、芭蕉45歳の時……と紹介しています。

奥の院参道の芭蕉句碑

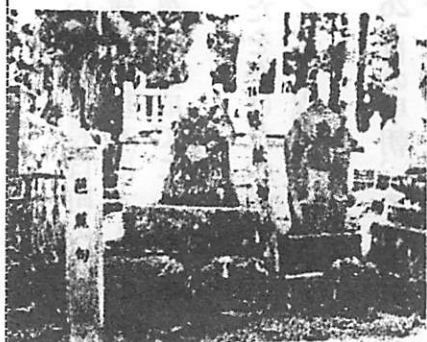
父母のしきりにこひし雉の声

芭蕉

芭蕉の句碑

は奥の院参道
にあります

(写真)が、苔むす状態で案内の標柱がないとわかりにくい状態です。



この芭蕉句碑の筆者は、江戸中期の著名な文人画家、池大雅です。

宿坊の一つでもある遍照光院の池太雅筆の襖絵、「紙本着色山水人物画」は国宝とされています。

余談になりますが、同盟和歌山北支部のバスツアーで、京都の池大雅記念館に立ち寄ったときに、学芸員の方に「高野山の句碑の字は…」と尋ねると、「間違はなく池大雅の筆です」と、拓本を見せてくれました。

おとなしき時雨を聞くや高野山

鬼貫

人の世の今日は高野の牡丹見る

虚子

(参考資料：芭蕉と高野山Ⅱ普賢院、きのくにの国宝Ⅱ県立博物館、地名・俳枕必携)

(瀬戸 正男)